

平成25年度

「学生によるオレンジリボン運動」 近大姫路大学 実施報告書



実施主体 教育学部こども未来学科3年生 松浦・松島ゼミ
実施内容 平成25年12月9日～13日 学内での発表会開催

①事前に取り組んだ内容

児童虐待やオレンジリボンについて、最新の正確なデータを調べ、調べてきたものの中で自分たちが一番伝えたいことをいかに分かりやすく相手に伝えていくかを考え、模造紙にまとめました。模造紙に書く際、見やすく、興味が湧くようにレイアウトをしました。また、オレンジリボン運動に足を運んでもらえるように宣伝し、呼びかけました。

②実施期間に取り組んだ具体的内容

学内で、ポスターの掲示と口頭発表を行いました。
発表をする際には、簡単に説明してから自由に見てもらう時間をつくり、より興味をもって見てもらうよう工夫しました。また、発表する時には、全員がオレンジリボンをつけてアピールし、発表の後でオレンジリボン、しおりの配布を行いました。また、オブジェを作成し設置しました。

③「オレンジリボン運動」を終えての感想等

オレンジリボン運動を実施するというので、まず自分たちがオレンジリボン、児童虐待のことを知るところからはじまり、各自で調べて発表したのですが、なかなか正確なデータに辿り着かず、とても大変でした。しかし、自分たちで調べていくことで、児童虐待の定義、件数、背景など自分たちが大まかにしか知らなかった現状を知ることができました。

また、調べたことを人前で発表することも難しく、どのようにしたら相手に興味をもってもらえるかということにすごく悩みました。大変だった分、終わった後は達成感があり、アンケートにも「わかりやすかった」などの声が多く、この運動をして良かったと感じました。

今後は学内だけでなく、学外にも広めていきたいです。

